

Multiple holes 5 for attachment are formed in a flat portion 4 by a predetermined interval in a longitudinal direction. A screw 5 is inserted into the hole 5 so that a wire 1 is fixed on a part of an automotive vehicle. Fig. 4 shows an example for utilizing an embedded metal plate 6 as a ground circuit.

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**



(4,000円)

実用新案登録願

昭和56年3月30日

特許庁長官殿



1. 考案の名称 シヤリヨウロウヒラガタデンセン  
車両用平型電線
2. 考案者 マツシ ナタルダイ ナロウメ  
住 所 静岡県浜松市佐鳴台3丁目11-410  
氏 名 スズ キ タケ トシ  
鈴木 健 稔
3. 実用新案登録出願人  
住 所 静岡県浜名郡可美村高塚300番地  
名 称 (208) 鈴木自動車工業株式会社  
代表者 スズ キ オサム  
鈴木 修
4. 代理人 (〒101)  
住 所 東京都千代田区神田駿河台1の6、主婦の友ビル  
(電話 (291) 9721~4)  
氏 名 (6271) 萼 優 美  
(ほか 1 名)



5. 添付書類の目録

- |          |     |          |     |
|----------|-----|----------|-----|
| -(1)-明細書 | 1 通 | -(4) 委任状 | 1 通 |
| -(2) 図面  | 1 通 | ( ) 方式審査 |     |
| (3) 願書副本 | 1 通 |          |     |



56-044998

181

157020

## 明 細 書

### 1 考案の名称

車両用平型電線

### 2 実用新案登録請求の範囲

- (1) 電線の平型に形成した絶縁体被覆部の一部に平面部を設け、該平面部にその表裏に貫通する取付用穴を開口したことを特徴とする車両用平型電線。
- (2) 前記平面部の内部に金属板を埋め込み、該金属板の前記平面部の取付用穴内に露出する部分には、該取付用穴より稍々小さ目のアース用穴を設けたことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の車両用平型電線。

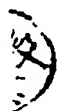
### 3 考案の詳細な説明

本考案は、二輪車または四輪車などに使用される車両用平型電線の改良に関するものである。

従来、配線済みの車両用平型電線を車体の一部などに固定する場合には、別途特殊なクランプや接着テープを用いて行っていた。

しかしながら、クランプの場合は、このクラ

(1)

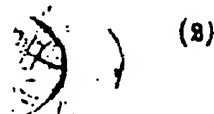


157020

ンプ自体が部品として高価でコスト上昇を招く上、作業性も悪く、また固定する電線の両縁を押えるものであるため、電線の長さ方向への固定強度が弱く、緩み易く、作業中に引抜け（移動）してしまい組付けにバラツキが起きたり、組付け後の使用中にも移動することがあった。このことは接着テープについても略同様であった。

本考案は、このような従来の実情に鑑みなされたものである。そしてその目的とするところは、電線の絶縁被覆に改良を施して、安価で作業性がよく、かつその固定状態が極めて安定である車両用平型電線を提供せんとするにある。

かかる本考案の特徴は、電線の絶縁体被覆部の一部に平面部を設け、この平面部にその表裏に貫通する取付用穴を設け、この取付用穴を利用して電線を固定しようとしたことにある。例えばこの取付用穴にビスなどを挿入して固定するようにすれば、クランプ部品としてはビスのみでよく、安価で、また固定はビスを螺着させ



るのみでよいから、作業性がよく、さらにその固定も強固で、電線の長さ方向（軸方向）にも引抜けることはない。

次に、本考案を図面により詳説する。

第1図および第2図は本考案の第1実施例を示す。1は平型電線全体を示し、この電線1は、左右に2本ずつの導体心線2…を有し、プラスチック樹脂またはゴムなどの絶縁体で被覆されている。そしてこの絶縁体被覆部3の略中央部に、電線1の長さ方向及び軸方向に所定巾で延びる平面部4が形成されている。この平面部4は電線1の表裏で平坦になっている。したがって、車体の一部などに固定する際、安定性がよい。尚、この平面部4は完全な平坦に限らず、多少変形したものも含む。

このようにしてなる平面部4には長さ方向に適宜間隔をおいてその表裏に貫通する取付用穴5…が穿設してある。したがって、上述したように取付用穴5に例えばビスなどを挿入して、電線1を目的とする車体の一部に固定すればよ

(8)



い、この場合、車体側に溶接ナットまたはパーリング穴など設けておくようにする。

第3図および第4図は本考案の第2実施例を示す。1'は平型自動車用電線全体を示し、この場合の電線1'は上述の第1実施例の場合と略同様であるが、平面部4の絶縁体内部にこの平面部4と同方向に延びる長尺な金属板6、例えば銅板を埋め込んである。そしてこの金属板6の上記平面部4に設けた取付用穴5内に露出する部分には、取付用穴5より少々小さ目のアース用穴7を設けてある。したがって、上述したように平面部4の取付用穴5にビス8（もちろん、この場合は金属製ビス）を挿入して、固定すれば、固定と同時に金属板6はアースされる。すなわち、この金属板6をアース回路として使用することができる。

以上説明したように本考案の電線によれば、余分なクランプまたは接着テープを使用しなくとも、ビスなどを用いることにより、電線を安価で作業性がよく、かつ極めて安定した状態で

固定することができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の平型自動車用電線の第1実施例を示す平面図である。

第2図は第1図のⅡ-Ⅱ線縦断面図である。

第3図は本考案の平型自動車用電線の第2実施例を示す平面図である。

第4図は第3図のⅣ-Ⅳ線縦断面図である。

1, 1' ... 車両用平型電線

3 ... 絶縁体被覆部

4 ... 平面部

5 ... 取付用穴

6 ... 金属板

7 ... アース用穴。

実用新案登録出願人

鈴木自動車工業株式会社

代理人 井理士 専

優 美



(ほか1名)

(5)

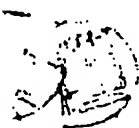




図 1 牙

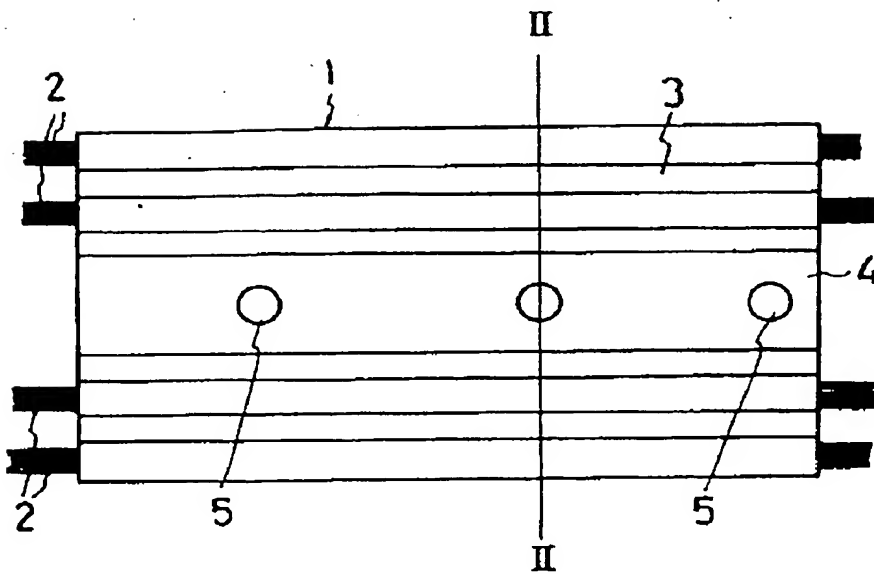


図 2 牙

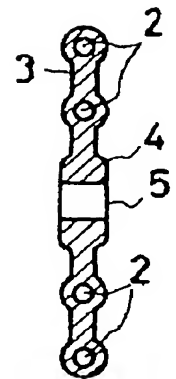


図 3 牙

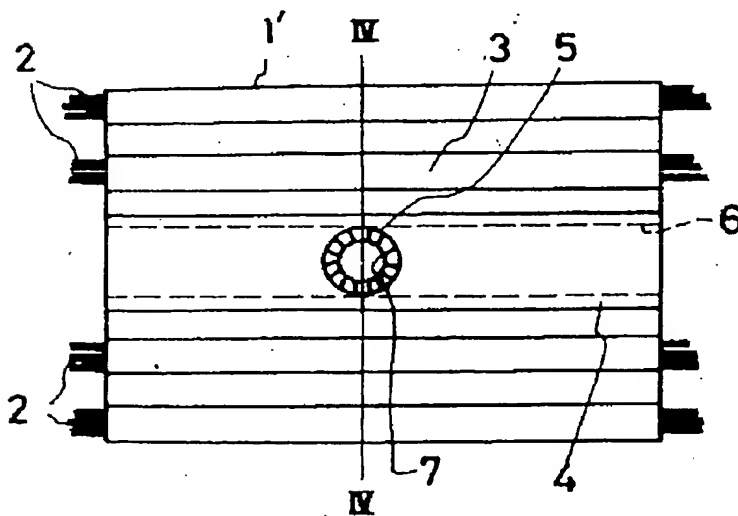
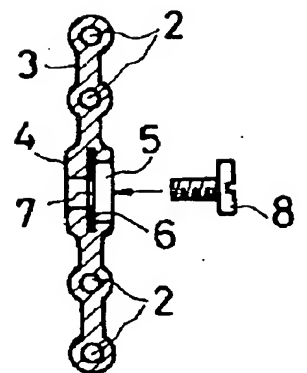


図 4 牙



△ 前記以外の代理人

住所 東京都千代田区神田駿河台1の6

主婦の友ビル

氏名 (6861) 粵 経 夫

